



2025年度 小野梓記念スポーツ賞

「小野梓記念スポーツ賞」とは

小野梓は、大隈重信をたすけて早稲田大学の前身である東京専門学校創設にもっとも心血を注いだ一人である。ゆえに大隈重信と小野梓は本学建学の父・母に並び称される。東京専門学校が創立された1882年当時、我が国唯一の高等教育機関であった東京大学では、お雇い外国人教師による西洋の書物・言語を用いた教授が主流であった。また日本は、旧幕府が欧米諸国と締結した不平等条約の改正を急務としている時代であった。

小野梓は、東京専門学校の開校式の祝辞の中で、次のように述べている。

一国の独立は国民の独立に基いし、国民の独立はその精神の独立に根ざす。而して国民精神の独立は実に学問の独立に由るものなれば、その国を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその民を独立せしめざるを得ず。その民を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその精神を独立せしめざるを得ず。而してその精神を独立せしめんと欲せば、必ず先ずその学問を独立せしめざるを得ず。

すなわち、「一国の独立」をまっとうする方途は、つまるところ「学問の独立」を措いてないと言うのである。こうして、「学問の独立」を唱える小野梓は、日本語による専門学術の教授を力説した。

小野梓は、東京専門学校創立後、わずか3年余で、その後の学園の隆盛を見ることなく、33歳の若さで亡くなった。しかし、小野梓の唱えた「学問の独立」は、1913年の創立30周年式典に際して宣明された「早稲田大学教旨」に明記され、今日に至るまで脈々と受け継がれて早稲田大学の根本精神となっている。

こうした小野梓の功績を顕彰し、建学の精神を顕揚することを目的に、1958年に小野梓記念賞が制定され、学術、芸術、スポーツの三部門において、それぞれ優れた成績を修め、模範となるべき学生に対してこの賞が贈られることになった。

さらに1994年度より、三賞の選考範疇には属さないが、小野梓記念賞を授けるに値すると認められる成果、業績をあげた学生に対して特別賞が贈られている。

2025年度 小野梓記念スポーツ賞

◎個人

部 名	学 部	学 年	氏 名	大 会 名	成 績
野球部	スポーツ科学部	4年	伊 藤 樹	第43回 ブラハベースボールウィーク	優勝
				第31回 ハーレムベースボールウィーク	優勝
水泳部	スポーツ科学部	4年	和 田 彩 未	第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)	AS チーム総合 5位
				WORLD AQUATICS WORLD CUP 2024	AS チームアクロバットルーティン 2位
競走部	スポーツ科学部	4年	井 上 直 紀	広州 2025 世界リレー	4×100m リレー 4位
				西 徹 朗	南京 2025 世界室内陸上競技選手権大会
	スポーツ科学部	4年	山 口 智 規		ベオグラード 2024 世界クロスカントリー選手権大会
				第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技	男子 60m ハードル 優勝
スキー部	スポーツ科学部	4年	葛 西 春 香	FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2023/レークプラシッド)	ノルディック複合女子個人 優勝
				ノルディックスキー世界選手権大会 2023	女子個人ノーマルヒル 3位
				ノルディックスキー世界選手権大会 2025	女子個人ノーマルヒル 3位

部 名	学 部	学年	氏 名	大会 名	成 績
スキー部	スポーツ科学部	4年	葛 西 優 奈	FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2023/レークプラシッド)	ノルディック複合女子 5km マススタート 優勝
				ノルディックスキー世界選手権大会 2023	女子個人ノーマルヒル 5位
				ノルディックスキー世界選手権大会 2025	女子個人ノーマルヒル優勝
	スポーツ科学部	4年	小 池 駿 介	第 103 回全日本スキー選手権大会	リレー競技 男子リレー 4×10km 優勝
	スポーツ科学部	4年	滝 沢 育 矢	第 103 回全日本スキー選手権大会	リレー競技 男子リレー 4×10km 優勝
				FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2025/トリノ)	スキークロスカントリー 男子 4×7.5km リレー 優勝
	スポーツ科学部	4年	中 島 果 歩	第 102 回全日本スキー選手権大会	女子 1.4km スプリント クラシカル 優勝
スポーツ科学部	4年	山 田 智 子	第 104 回全日本スキー選手権大会	リレー競技 女子リレー 3×5km 優勝	
バスケットボール部	スポーツ科学部	4年	西 ファトゥマ七南	FIBA 3x3 アジアカップ 2025	3x3 バスケットボール 女子日本代表 2位
レスリング部	スポーツ科学部	4年	尾 西 大 河	2025 シニア世界選手権	男子グレコローマンスタイル 55キロ級 14位
				令和7年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会	男子グレコローマンスタイル 55キロ級 優勝
ヨット部	スポーツ科学部	4年	青 山 知 央	第36回全日本女子 470 選手権	470級 優勝
ゴルフ部	スポーツ科学部	4年	中 野 麟 太 朗	第107回日本アマチュアゴルフ選手権競技	優勝
				2024年度アジアパシフィックアマチュア選手権	3位
				2025年度アジアパシフィックアマチュア選手権	3位
ラクロス部	商学部	4年	中 原 健 太	2026 Asia-Pacific Men's Lacrosse Championship-World Qualifier	男子 3位
	政治経済学部	4年	野 澤 想 大	2026 Asia-Pacific Men's Lacrosse Championship-World Qualifier	男子 3位
	創造理工学部	4年	水 野 文 萌	2025 アジアパシフィック女子ラクロス選手権大会	優勝
体育各部非所属	スポーツ科学部	4年	小 野 光 希	第25回オリンピック冬季競技大会 (2026/ミラノ・コルティナ)	スノーボード女子 ハーフパイプ 3位
	スポーツ科学部	4年	関 口 広 太	CMAS 23rd World Championships Finswimming Indoor	フィンスイミング 50mBF 26位
				The World Games 2025	ライフセービング 4×25m Manikin Relay 5位
				The World Games 2025	ライフセービング 4×50m Pool Life Saver Relay 5位

◎団体

部 名	大会 名	成 績
バレーボール部	黒鷲旗 JVA 第73回全日本バレーボール選抜大会	男子 優勝

2024年度受賞者 訂正

〈誤〉◎団体 競走部 第108 回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 男子4×100mR 優勝

〈正〉◎個人 商学部 4年 大竹 春樹 第108 回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 男子4×100mR 優勝

スポーツ科学部 4年 千田杜真寿 第108 回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 男子4×100mR 優勝

※団体から個人へ修正

〈誤〉山下 栞 スケート部

〈正〉山下 栞 体育各部非所属